

## 受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。  
さて、「新興国債オープン（1年決算型）（愛称 アトラス（1年決算型））」は、このたび、第14期の決算を行いました。

当ファンドは、新興国債マザーファンドを通じて、主としてJPモルガン社のGBI-EEM（ガバメント・ボンド・インデックス・エマーシング・マーケット）ブロード・ディバースファイド指数を構成する新興国が発行する現地通貨建ての国債または政府機関が発行する債券、およびそれと同等の価値が得られるクレジット・リンク・ノート等に投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

### 第14期末(2021年8月12日)

基準価額	9,153円
純資産総額	539百万円
第14期	
騰落率	4.2%
分配金(税引前)合計	100円

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、岡三アセットマネジメントのホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>  
ホームページのファンド情報から当ファンドのファンド名称を検索することにより、運用報告書（全体版）を閲覧およびダウンロードすることができます。

# 新興国債オープン （1年決算型） （愛称 アトラス（1年決算型））

追加型投信／海外／債券

作成対象期間：2020年8月13日～2021年8月12日

## 交付運用報告書

第14期（決算日 2021年8月12日）

 **岡三アセットマネジメント**  
〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社営業部 セールスサポートグループへ  
フリーダイヤル ☎0120-048-214（営業日の9:00～17:00）

[ホームページ]  
<https://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

## 運用経過

## 期中の基準価額等の推移

（2020年8月13日～2021年8月12日）



期首：8,879円

期末：9,153円（既払分配金（税引前）：100円）

騰落率：4.2%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首（2020年8月12日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象である「新興国債マザーファンド」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

## （主なプラス要因）

- ・新興国債への投資により、安定的な利息収入を獲得したこと。また、インドネシア、南アフリカなどの投資国において国債利回りが低下したことを受けて、保有債券の価格が上昇したこと。
- ・南アフリカランド、メキシコペソ、中国人民元など多くの投資通貨が対円で上昇したこと。

## （主なマイナス要因）

- ・ブラジル、トルコ、ペルーなどの投資国において国債利回りが上昇したことを受けて、保有債券の価格が下落したこと。
- ・ペルーソル、トルコリラなどの投資通貨が対円で下落したこと。

1 万口当たりの費用明細

(2020年8月13日～2021年8月12日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 ( 投 信 会 社 ) ( 販 売 会 社 ) ( 受 託 会 社 )	130 ( 62 ) ( 60 ) ( 8 )	1.430 (0.682) (0.660) (0.088)	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( 監 査 費 用 ) ( そ の 他 1 ) ( そ の 他 2 )	14 ( 6 ) ( 1 ) ( 0 ) ( 6 )	0.150 (0.070) (0.013) (0.000) (0.067)	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他1は、中国の債券取引に係る費用 その他2は、クレジット・リンク・ノートの発行体に関する年間手数料等
合 計	144	1.580	
期中の平均基準価額は、9,124円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

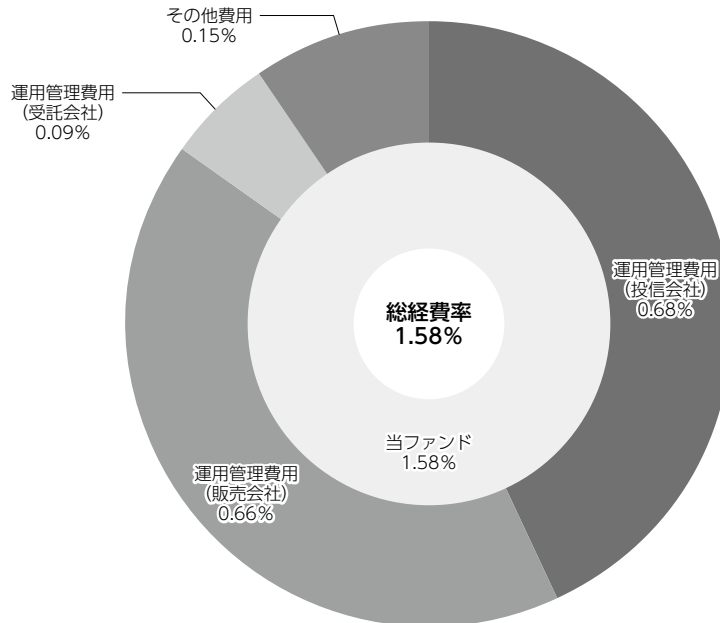
(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.58%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

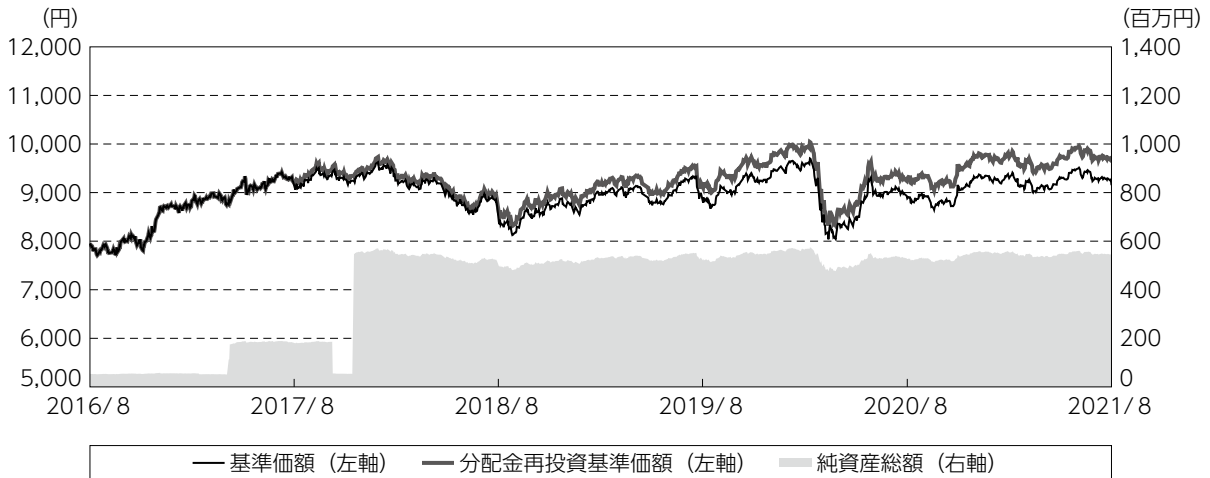
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2016年8月12日～2021年8月12日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2016年8月12日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2016年8月12日 期初	2017年8月14日 決算日	2018年8月13日 決算日	2019年8月13日 決算日	2020年8月12日 決算日	2021年8月12日 決算日
基準価額 (円)	7,952	9,062	8,388	8,796	8,879	9,153
期間分配金合計(税引前) (円)	—	100	100	100	100	100
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	15.2	△ 6.3	6.1	2.1	4.2
GBI-E M(ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット)ブロード・ディバースィファイド指数(円ベース)騰落率 (%)	—	13.4	△ 3.9	4.4	2.2	7.9
純資産総額 (百万円)	53	179	496	520	526	539

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算日当日との比較です。

(注) GBI-E M (ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット) ブロード・ディバースィファイド指数(円ベース)は当ファンドの参考指数です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する指数として記載しているものです。詳細につきましては、最終ページをご覧ください。

## 投資環境

（2020年8月13日～2021年8月12日）

## ＜新興国の国債市場＞

新興国の国債市場では、先進国の国債利回りの上昇に連動し利回り上昇（価格下落）のスタートとなりましたが、2020年11月に実施された米国の大統領選挙後は投資家の利回り追求の動きが強まり、利回りは低下（価格は上昇）しました。2021年に入ると、米国の大規模な追加財政政策の成立や新型コロナウイルスのワクチン接種進展が世界経済の回復につながるとの見方を背景に、先進国の国債利回りが大幅上昇した影響から、3月末にかけて新興国の国債利回りの上昇基調が鮮明となりました。その後は、世界経済の回復ペースの鈍化懸念から、5月中旬以降、先進国の国債利回りが低下基調となりましたが、新興国の国債利回りは全般的に高止まりする展開が続きました。当期間においては、インドネシアと南アフリカの国債利回りが低下したものの、ブラジル、トルコなどを筆頭に多くの投資国で国債利回りが上昇しました。

## ＜為替市場＞

為替市場では、欧州における新型コロナウイルスの感染再拡大や米国の大統領選挙に対する不透明感等を背景に、2020年10月末までは新興国通貨全般が対円で上値の重い展開となりました。しかし、米国の大統領選挙後は投資家のリスク選好の動きが強まり、新興国通貨が対円で急反発しました。2021年に入ると、世界的な景気回復期待の高まりに加え、内外金利差の拡大に伴い円安圧力が強まったことを受けて、6月中旬までは、新興国通貨全般が対円で堅調に推移する展開が続きました。しかし、その後は、世界経済の回復ペースの鈍化懸念が徐々に高まったことや、米連邦準備制度理事会（FRB）が金融緩和策の縮小や利上げに前向きなタカ派に転換したとの観測が台頭したこと等を受けて、新興国通貨が対円で上げ幅を縮小する動きとなりました。当期間においては、投資していた11通貨のうち、南アフリカランド、メキシコペソ、中国人民元などを筆頭に8通貨が対円で上昇する一方、トルコリラ、ペルーソルなど3通貨が対円で下落しました。

## 当ファンドのポートフォリオ

（2020年8月13日～2021年8月12日）

## ＜新興国債オープン（1年決算型）（愛称 アトラス（1年決算型））＞

「新興国債マザーファンド」の受益証券を主要投資対象とし、同受益証券の組入比率を概ね99%台と高位で推移させました。

## ○新興国債マザーファンド

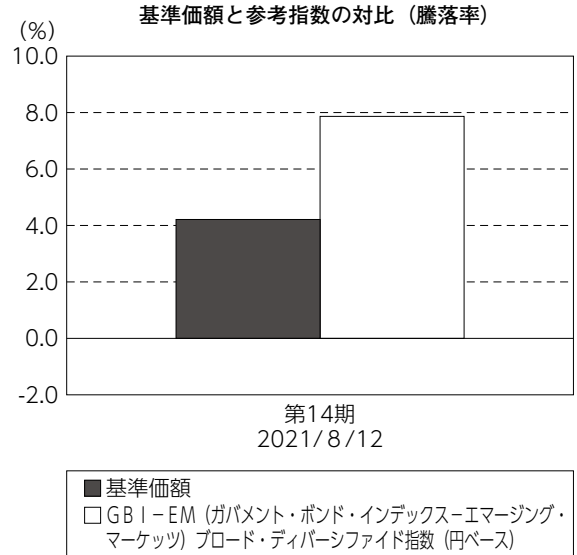
J Pモルガン社のGBI-EM（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバースファイド指数を構成する新興国の中から、国債の利回り水準や流動性、国内総生産（GDP）、経常収支、外貨準備、インフレ率などのファンダメンタルズ等を総合的に判断し、投資国及び投資通貨を選定しました。当期間においては、11カ国、11通貨（日本及び円は除いています）に投資を行いました（インドへの投資はクレジット・リンク・ノート（CLN）\*を通じて行いました）。当期間における新興国の国債及び通貨の投資比率は、投資環境に応じて、機動的に変化させました。特に、新興国通貨の下落リスクが懸念される場面では、新興国の国債及び通貨の投資比率引き下げや一部投資通貨に対する為替ヘッジを行い、ファンドの為替変動リスクの軽減を図りました。為替ヘッジに関しては、2021年1月下旬から2月上旬（純資産比12%程度）、3月下旬から4月上旬（純資産比30%弱）に実施しました。また、2021年1月下旬から2月上旬にかけては、米国債を8%弱組入れました。期末時点の新興国債の投資比率は85.0%、外貨の投資比率は86.3%、投資国上位は、インドネシア、中国、メキシコとなっています。前期末からの主な変化は、中国やトルコなどの投資比率が上昇する一方、マレーシアやブラジルなどの投資比率が低下しました。また、ファンドの金利変動リスクを測る尺度であるデュレーションは、期末時点で4.53年となり、前期末と比較し長期化となりました。

\*クレジット・リンク・ノート（CLN）は、現地通貨建ての新興国債または新興国の政府機関債にパフォーマンスが概ね連動する債券です。クレジット・リンク・ノート（CLN）は、米ドル建てで発行されていますが、ファンドに与える実質的影響を考慮し、連動先債券の国および通貨の情報に基づいて前述の分類を行っています。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

（2020年8月13日～2021年8月12日）

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注) 参考指数は、GB I-E M (ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット) ブロード・ディバーシファイド指数 (円ベース) です。

## 主要投資対象国の金利と為替

発行国	債券利回り			為替レート		
	2020/8/12	2021/8/12	変化幅	2020/8/12	2021/8/12	変化率
中国	3.14%	3.04%	△ 0.10%	15.34	17.04	11.1%
インド	6.00%	6.49%	0.49%	1.44	1.50	4.2%
インドネシア	6.74%	6.26%	△ 0.48%	0.73	0.77	5.5%
マレーシア	2.41%	3.33%	0.92%	25.37	26.05	2.7%
ポーランド	0.80%	1.18%	0.38%	28.38	28.29	△ 0.3%
ロシア	5.52%	6.90%	1.38%	1.45	1.50	3.4%
トルコ	13.57%	17.54%	3.97%	14.69	12.79	△ 12.9%
ブラジル	5.25%	9.30%	4.05%	19.80	21.14	6.8%
メキシコ	5.96%	7.07%	1.11%	4.75	5.54	16.6%
ペルー	4.08%	6.37%	2.29%	29.93	26.96	△ 9.9%
南アフリカ	10.15%	9.81%	△ 0.34%	6.07	7.52	23.9%

各国の債券利回りは、「GBI-E M（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数」の情報に基づくため、償還年限は国ごとに異なります。また、ファンドが実際に投資している債券の利回りとは異なります。なお、各利回りとも該当日の前営業日のデータを使用しています。

為替レートは対顧客電信売相場の当日（東京）の仲値です。インドネシアに関しては、100倍して表示しています。

## 「新興国債マザーファンド」の主要投資対象国別組入比率

	2020/8/12	2021/8/12	変化幅
中国	2.9%	11.1%	8.2%
インド	6.7%	7.6%	0.9%
インドネシア	12.2%	14.0%	1.8%
マレーシア	11.8%	6.8%	△ 5.0%
ポーランド	6.5%	5.1%	△ 1.4%
ロシア	6.3%	5.2%	△ 1.1%
トルコ	1.0%	4.1%	3.1%
ブラジル	9.8%	6.3%	△ 3.5%
メキシコ	9.3%	9.3%	—
ペルー	8.1%	7.2%	△ 0.9%
南アフリカ	8.1%	8.3%	0.2%

比率は、「新興国債マザーファンド」の純資産総額に対する率です。クレジット・リンク・ノート（CLN）を組み入れている場合は、実質的に投資している国の比率として表示しています。



## 分配金

（2020年8月13日～2021年8月12日）

分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額としております。当期間におきましては、1万口当たり100円（税引前）の分配を行いました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項 目	第14期
	2020年8月13日～ 2021年8月12日
当期分配金	100
(対基準価額比率)	1.081%
当期の収益	100
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	7,408

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

### （投資環境の見通し）

先進国の国債市場では、各国の中央銀行による金融緩和策の縮小が視野に入る一方、中国経済を筆頭に世界経済の回復ペース鈍化への懸念が高まりつつあり、当面は一進一退の展開になると想定しています。新興国においては、先進国の中央銀行の金融政策を睨んで、利回り上昇圧力が強まる場面があると見ています。しかし、先進国との利回り格差が依然として高水準を維持していることから、先進国の国債利回りが大幅な上昇とならない限り、今後も新興国の国債市場への投資資金の流入が期待できると考えています。

為替市場では、新興国経済全般の回復基調が継続する中で、中長期的には新興国への投資資金の流入を背景に、新興国通貨が底堅く推移する展開を想定しています。ただ、FRBが金融緩和策の縮小や利上げに前向きなタカ派に転換した可能性が高いことや、新興国を中心に新型コロナウイルスの感染拡大への懸念が残ることから、当面は新興国通貨が対円で軟調に推移する場面もあると見ています。

### （運用方針）

#### <新興国国債オープン（1年決算型）（愛称 アトラス（1年決算型））>

主要投資対象である「新興国国債マザーファンド」の受益証券の組入比率は99%台の高位を維持する方針です。ただし、追加設定・解約の動向等によっては組入比率が高位にならない場合があります。

#### ○新興国国債マザーファンド

新興国の国債及び通貨の組入れを高位に維持することを基本とします。ただ、市況動向によっては、ポートフォリオの一部を先進国の国債（米国、ドイツ、日本）や円のコール・ローン等へシフトする場合があります。また、投資環境の変化に応じてファンド全体の金利変動リスク、為替変動リスク、信用リスクのコントロールを図る方針ですが、投資環境の急変が起きた場合には、委託会社の判断により為替ヘッジを行うことがあります。

## お知らせ

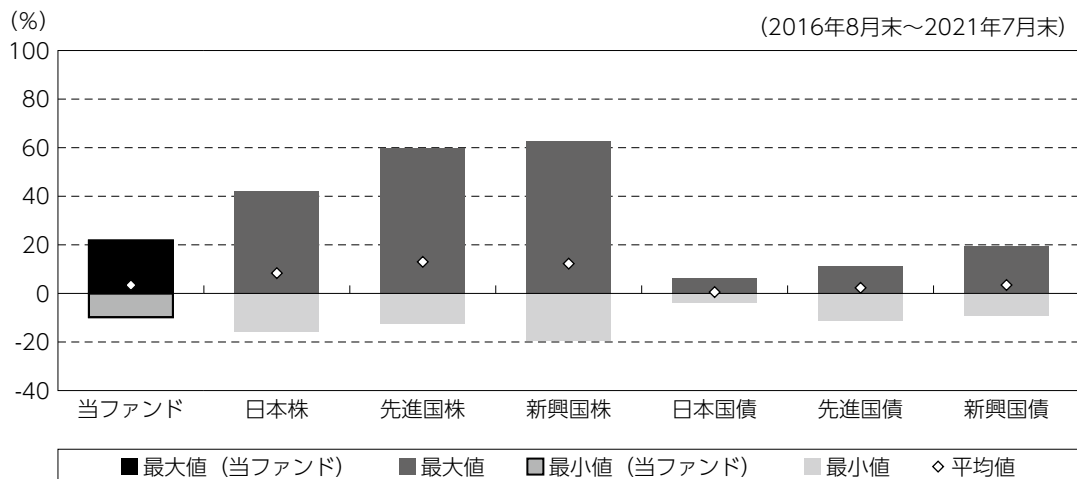
該当事項はございません。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2007年8月30日から、原則として無期限です。	
運用方針	<p>新興国国債マザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）を通じて、主としてJPモルガン社のGB I－EM（ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数を構成する新興国が発行する現地通貨建ての国債または政府機関が発行する債券、およびそれと同等の価値が得られるクレジット・リンク・ノート等（以下、「新興国の国債等」といいます。）に投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。</p> <p>実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。ただし、投資環境の急変が起きた場合等には、委託会社の判断により為替ヘッジを行うことがあります。</p>	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	新興国国債マザーファンド	新興国の国債等を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とするファミリーファンド方式で運用を行います。
	新興国国債マザーファンド	<p>投資にあたっては、JPモルガン社のGB I－EM（ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数を構成する新興国の中から、利回り水準や流動性等を考慮して選定した新興国の国債等に、ポートフォリオの70%程度を投資します。（ステップ①）</p> <p>次に、ポートフォリオの30%程度を、GDP、経常収支、外貨準備高等から総合的に判断して、ファンダメンタルズが良好であり、あるいはファンダメンタルズの改善が見込めることなどから、通貨価値の上昇が見込まれる新興国の国債等に投資します。なお、この場合に、ステップ①で投資した新興国の国債等に重複して投資する場合があります。（ステップ②）</p>
分配方針	<p>毎年8月12日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。</p> <p>分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。繰越分を含めた配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。</p> <p>委託会社が、分配可能額、基準価額水準等を勘案のうえ分配金額を決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。</p>	

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	21.8	42.1	59.8	62.7	6.5	11.4	19.3
最小値	△ 9.8	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 4.0	△ 11.4	△ 9.4
平均値	3.4	8.3	13.0	12.3	0.5	2.3	3.5

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2016年8月から2021年7月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

## 当ファンドのデータ

## 組入資産の内容

(2021年8月12日現在)

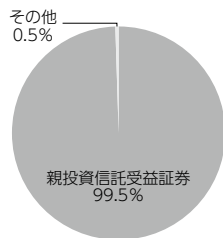
## ○組入上位ファンド

銘柄名	第14期末
新興国債マザーファンド	99.5%
組入銘柄数	1銘柄

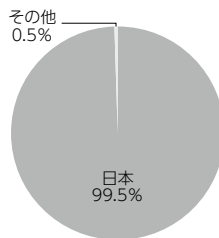
(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

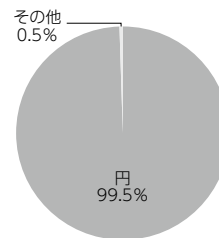
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

## 純資産等

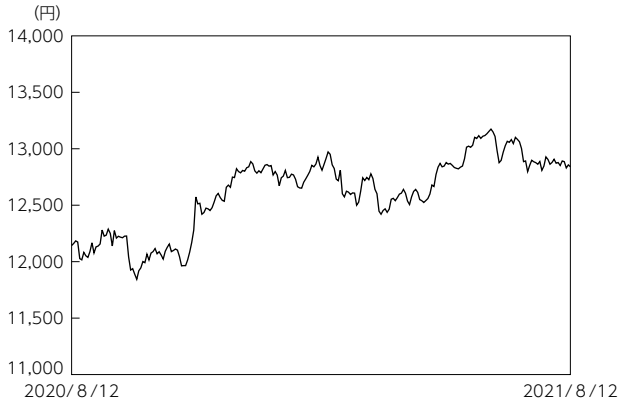
項目	第14期末
	2021年8月12日
純資産総額	539,494,468円
受益権総口数	589,445,364口
1万口当たり基準価額	9,153円

(注) 期中における追加設定元本額は5,882,584円、同解約元本額は8,873,006円です。

組入上位ファンドの概要

新興国国債マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2020年8月13日～2021年8月12日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) そ の 他 費 用	円 17	% 0.135
（ 保 管 費 用 ）	( 9 )	(0.070)
（ そ の 他 1 ）	( 0 )	(0.000)
（ そ の 他 2 ）	( 8 )	(0.064)
合 計	17	0.135
期中の平均基準価額は、12,573円です。		

(注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2021年8月12日現在)

	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率
1	MEXICAN BONOS 7.75	国債証券	メキシコペソ	メキシコ	8.7%
2	CS INT(INRCLN) 8.4 2407A	普通社債券	米ドル	イギリス	7.6%
3	CHINA GOVT BOND 3.82	国債証券	オフショア元	中国	7.5%
4	PERU B SOBERANO 8.2	国債証券	ペルーソール	ペルー	7.2%
5	INDONESIA GOV'T 7	国債証券	インドネシアルピア	インドネシア	7.0%
6	REP SOUTH AFRICA 8	国債証券	南アフリカランド	南アフリカ	6.9%
7	BRAZIL NTN-F 10	国債証券	ブラジルレアル	ブラジル	6.3%
8	RUSSIA-OFZ 7.05	国債証券	ロシアルーブル	ロシア	5.2%
9	INDONESIA GOV'T 8.25	国債証券	インドネシアルピア	インドネシア	4.3%
10	MALAYSIA GOVT 3.882	国債証券	マレーシアリンギット	マレーシア	4.0%
組入銘柄数		20銘柄			

(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

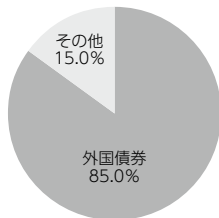
(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) 国（地域）につきましては発行国を表示しております。クレジット・リンク・ノートは発行体の所在地で表示しております。

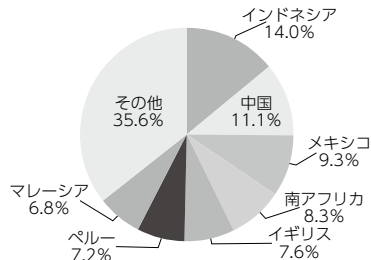
(注) 米ドル建ての債券は、全て現地通貨建ての新興国国債にパフォーマンスが概ね連動するクレジット・リンク・ノートです。銘柄名に（INRCLN）とあるのはインドの現地通貨建ての国債に連動する債券です。

(注) クレジット・リンク・ノートは、連動先債券の信用リスクに加え、発行体である金融機関の信用リスクも負っています。当期末現在の発行体は、Credit Suisse Internationalです。

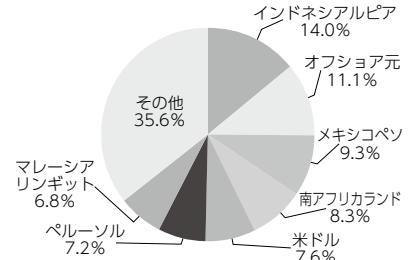
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。クレジット・リンク・ノートは発行体の所在地で表示しております。

(注) 通貨別配分につきましては、組入債券の通貨別比率を表示しております。クレジット・リンク・ノートにつきましては、米ドル建てで発行されているためドルで表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は、運用報告書（全体版）をご覧ください。

### ＜当ファンドの参考指数について＞

GBI-EEM（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバースファイド指数（円ベース）は、J.P. Morgan Securities Inc.が公表している新興国の債券のパフォーマンスを表す指数です。同指数は、J.P. Morgan Securities Inc.が定める条件により選ばれた、政府または政府機関の発行する、新興国の現地通貨建ての債券で構成されている時価総額加重平均指数で、2003年1月1日より算出されております。

### ＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

#### ○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

#### ○MSCI - KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI - KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

#### ○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

#### ○NOMURA - BPI国債

NOMURA - BPI国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA - BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

#### ○FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

#### ○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。